

## 普及活動情勢報告（令和3年1月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

### オオバの増収技術！～冬場でも炭酸ガス施用で収量向上～



促成作型のオオバでは、炭酸ガス施用による増収技術の確立に向けて取り組んでいます。過去2年の試験で、炭酸ガス施用をすることで側枝数が増え、増収になることがわかっています。今年度は、単位面積あたりの側枝数を変えずに定植本数を増やし、平うねで栽培しています。

実施農家からは、「情勢は厳しいが、増収技術と省力化を組み合わせ効率的な生産を目指したい。炭酸ガス施用で葉のつやが良くなることから、最適な栽培環境になっていることがわかる」などの声が聞かれました。

農業改良普及課では、効率的な生産に向けて支援を継続していきます。

### J A 香美地区温室みかん部会南部支部が現地研修会を開催



1月18日、J A 香美地区温室みかん部会南部支部が現地研修会を開催し、生産者8名が参加しました。

農業改良普及課は、前作にハウス18棟で調査した果実肥大データを用いて、初期肥大の重要性を示し、高収量かつM、S級中心の果実づくりのための摘果、枝吊り、かん水管理について説明しました。

生産者からは「私も毎年果実肥大を調べている。日肥大量はかん水管理の参考になる」、「ベテランの生産者はMSで揃っている」等の声が聞かれ、本格的な果実肥大期を前に、摘果の方法等について考える機会となりました。

今後は、ハダニ対策のための天敵の低コストな活用法等について生産者、J Aと協力して調査をしていく予定です。

### うどんこ病対策で甘長とうがらしの収量向上を！



南国市管内の甘長とうがらし栽培では、近年うどんこ病を始めとする病害虫の防除に苦慮しています。農業改良普及課では、収量向上に向け、「電気加熱式くん煙器」を利用したうどんこ病対策等の病害虫防除に取り組んでいます。

今年度は、農家1戸で、うどんこ病の発病度および病害虫の発生状況を週に1回のペースで調査を行っています。調査の都度、農家と病害虫の発生状況を確認しており、農家からは「去年よりうどんこ病も少なく、収量が上がった。」との声がありました。

農業改良普及課では、今後も甘長とうがらしの収量向上に向けて、うどんこ病を始めとした病害虫防除の方法を検討していきます。

### 水稻種子の生産安定に向けて～香北町採種組合総会～



12月23日、J A香美地区香北支所で香北町採種組合総会が開催され、組合員5名全員及び関係機関が出席しました。

農業改良普及課からは、令和2年産の種子生産圃場の状況と生産物審査の結果などについて報告しました。

令和2年は7月の多雨や8月の高温等の異常気象に加えトビイロウンカが多発したものの、概ね種子が確保でき発芽率も良好でした。

会終了後には次年度の計画について話し合い、全員が種子栽培を継続することとなりました。

農業改良普及課は、引き続き香北町採種組合の優良種子の生産安定に向け関係機関と連携し支援していきます。

### 香美市の将来を担う新規就農者の確保 ～ 就農相談 ～



1月14日、香美市担い手育成総合支援協議会（市、J A、農業振興センター等）の各担当で、就農相談を行いました。

他産地から香美市での就農を検討している方で、就農までの手順や支援制度等について情報提供しました。当初は不安そうでしたが、産地側の手厚い支援に安心された様子で、ユズの産地提案書に沿って4月から研修を開始し、就農を目指すことになりました。

協議会では4月以降、16件の就農相談に対応し研修生2人、新規就農者7人を確保しました。農業改良普及課では今後も、関係機関と連携し、新規就農者の確保及び育成への取り組みを重点的に行っていきます。